

## 盛岡市立病院第3次経営改善計画の取組についての評価（案）

第3次経営改善計画の二年目に当たる平成28年度は、患者数は計画値よりも入院で3,035人、外来では13,005人下回りました。

入院収益、外来収益ともに患者数が計画に届かなかったため、計画値から、入院収益は194,010千円、外来収益は15,230千円下回りました。医業外収益は、一般会計からの繰入金で計画を下回ったため、101,600千円下回り、収益合計では342,781千円下回りました。

費用については、給与費、経費がそれぞれ計画値を上回ったことから、計画値から、医業費用は18,573千円上回ったものの、医業外費用が計画値よりも23,734千円下回り、費用合計では10,094千円下回りました。

この結果、計画では209,052千円の純利益を見込んでいましたが、決算としては123,635千円の純損失を計上しました。

また、各部門が設定した収益以外に関するアクションプランについては、43項目に取組み、目標達成率80%以上となったものが38項目で88.4%を占め、昨年度より3項目、7.0ポイント増加しました。

以上のことから、平成28年度は、目標とする単年度収支均衡は達成できませんでしたが、人工透析の開始や泌尿器科を新規開設するなど、市民の医療ニーズに積極的に応えており、経営改善に向けての取組は一定の成果をあげているものと評価します。

今後においても、医師の確保、地域包括ケア病棟の活用、他の医療機関や介護施設等との連携強化等に積極的に取り組み、さらなる収益の確保を図るとともに、材料費等の価格交渉の徹底などの費用の削減にも努め、アクションプランの達成率が高かった項目についてはレベルを維持し、達成率が低かった項目については目標を達成するよう全員参加の経営改善を進められたい。平成29年度は第3次経営改善計画の折り返しとなる年度であり、計画の後半においても早期に、目標としている単年度収支均衡を再び達成できるよう、努められたい。盛岡市立病院の基本理念である「優しさといたわりのある病院」、「信頼された優れた医療の病院」、「開かれた地域医療のための病院」を達成するため、患者中心の水準の高い医療を展開し、地域に密着した病院として、健全な経営が行われるよう、より一層の努力を望みます。

平成29年11月6日

盛岡市立病院経営評価委員会